

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5

TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021

<http://www.haruyama-hosp.com>

e-mail : [info@haruyama-hosp.com](mailto:info@haruyama-hosp.com)

## 「麻酔」の歴史

診療部 麻酔科  
石井 努

麻酔は"anaesthesia"といいます。これはギリシャ語源で、米国の学者が提唱（1846年）したといわれています。"anesthesiology"（麻酔学）や"anesthesiologist"（麻酔専門医）という語は第1次世界大戦後に使用され、「麻酔」という語は杉田成卿（江戸時代幕末期の蘭学者）の訳語（西暦1850年）とされています。

紀元前1370年頃の浮彫り（レリーフ relief）にマンダラゲ（曼陀羅華）があり、大麻、けし、朝鮮朝顔、ヒヨス（ナス科の多年草）、アルコールなどが鎮痛と関係して知られていましたが、実際に麻酔が行われたかは不明です。また、西暦208年頃に中国の華佗（三国志の登場人物である中国の伝説的な名医）が「麻沸散」と呼ばれる麻酔薬を使って手術を行ったとされていますが、これは古代史話にすぎません。西暦800から1400年頃には上記の薬物をひたした催眠海綿というものがよく用いられましたが、効果的な吸入（肺から体内に入る）は不可能で、頭部打撃や頸部圧迫による失神を利用するという今では考えられないような方法が行われていました。というわけで、医学そのものが確立されていなかった時代には、本当の麻酔法は無かったに等しいと言えます。

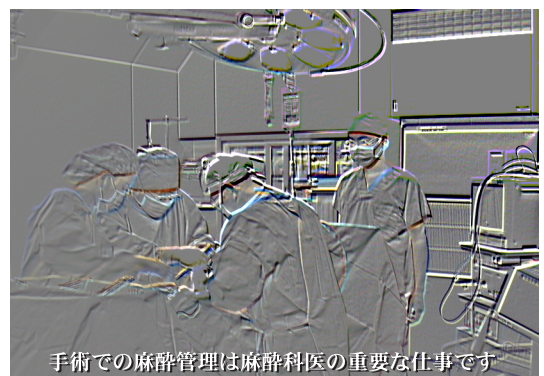
実例として証明されている麻酔手術は、19世紀半ばに日本へ西洋医学が輸入される前の、西暦1804年（文化元年）に、華岡青州（江戸時代の外科医）が「通仙散」という麻酔薬による全身麻酔下で乳癌摘出術を成功させたものが最古です。

第1次世界大戦と第2次世界大戦の間で麻酔科が臨床医学の一部門として確立し、欧米では麻酔学会や麻酔学講座の設立が行われました。

日本では麻酔は当初外科医の仕事でしたが、1950年に米国から麻酔科医の麻酔として導入されました。1954年に日本麻酔学会が設立され、現在では、全ての医科大学に麻酔学講座が存在しています。

今日では、麻酔の進歩により安全にそしてスムーズに手術を行えるようになりました。

当院では麻酔専門医が手術麻酔を担当し、患者様に安全に麻酔を受けていただけるよう努めています。不安や疑問点などありましたら是非ご相談ください。



手術での麻酔管理は麻酔科医の重要な仕事です

| 平成19年4月～19年9月 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 合計     |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 外来患者延べ数       | 4,318 | 4,610 | 4,890 | 4,695 | 4,857 | 4,194 | 27,564 |
| 入院患者延べ数       | 1,463 | 1,373 | 1,581 | 1,491 | 1,416 | 1,237 | 8,561  |
| 搬送救急車台数       | 459   | 455   | 454   | 436   | 441   | 455   | 2,700  |
| 平均在院日数        | 12.5  | 11.6  | 15.0  | 15.2  | 13.1  | 12.8  | 13.4   |
| 手術件数          | 50    | 62    | 45    | 45    | 52    | 32    | 286    |

## 食欲の秋ですが、突然痛みが…

食品売り場には色とりどりの食材が並びまさに食欲をそそる秋です。そんな料理にビールもついつい飲み過ぎて。しかし…。ある日、突然足の親指の付け根が激痛に見舞われる。この発作が起こると赤く腫れてしまい、ほんの少し動いたり、近くを車が過ぎ通る音でさえも足に響き、新たな痛みを覚えてしまう。これがまさに字のごとく「風が当たっただけでも痛い」この病気が痛風です。

痛風は尿酸値が高まり、長年それを放置しておくとう尿酸の結晶が関節等に蓄積し、それが刺激となり激痛を起こすものです。

尿酸は、細胞の核を構成するプリン体という物質が肝臓で分解される際に生じる老廃物です。よって痛風を防ぐにはプリン体の摂取を控えることが大切です。

プリン体はビールの他にレバーや魚の内臓、煮干やエビ、牛ヒレ、干し椎茸等に多く含まれるようです。



食欲がわくこの季節ですが飲み過ぎ、食べ過ぎにはじゅうぶん注意しましょう。

## 特定健診制度が来年4月に始動

医事課兼地域連携室  
岡田直子

「特定健康診査・特定保健指導」が平成20年4月より始まります。

死亡原因の約6割を生活習慣病が占め、医療費に占める生活習慣病の割合も国民医療費の約3分の1となっているというデータを見る限りでも、生活習慣病対策の必要性は明らかだと思われます。

必要性は十分理解していても、特定保健指導までおこなえる医療機関は現状では数少ないのが実情のようです。

先日新宿区医師会で行われた説明会においても、保健センターでまかなえない部分をどうするのか?という話も出ていました。

私的には、生活習慣病の発症まえの段階であるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を改善し、健診で「動機付け支援」や『積極的支援』に階層化されないために努力を始める人が増えることを願っております。

## 医療機関の皆様へ

### 《検査依頼》

検査予約は、下記時間帯で承ります。

平日 9:00～17:00（土曜日～16:00）

- ・CT、MRI検査 → 「放射線科」
- ・脳波検査 → 「臨床検査室」
- ・その他 → 「外来看護師」

### 《入院依頼》

9:00～17:00の診療時間内の入院依頼は診療担当医又は鈴木が対応いたします。夜間、休祭日は当直医が対応いたします。その他のご相談は医療相談室で承ります。

## 春山外科病院の理念と基本方針

### 病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様に安心して信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

### 基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の立場に立っての安全で親切的な医療の提供に努め、患者様の権利とプライバシーを尊重した医療を心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

### 患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

#### 良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることがなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

#### 選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

#### 情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく十分な説明を受ける権利があります。

#### 自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

#### プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

#### 尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

### 外来の待ち時間調査を実施しました。

当院では、少しでも待ち時間を短縮するために定期的に待ち時間調査を実施しております。（昨年は接遇面なども含めた患者様満足調査の一環で実施しました。）

本年も9月18日～21日の間に外来患者様約300人を対象に実施いたしました。ご協力いただいた患者様には感謝いたします。ありがとうございました。

ただ今、はがきを集計中です。結果がまとまり次第皆様にも本誌にてご報告させていただきます。と思っています。

### 編集後記

メタボリック…通称「メタボ」、きっと今年の流行語大賞の候補になっているだろうと思ってネットで調べてみましたが、ありませんでした。でもよくよく調べてみるとすでに昨年流行語大賞を受賞していたんですね。

歳をとると記憶力の低下はもちろん、年月の経過の早さにもついていけませんね。

気付けば今年ももう終わりなんですね。今年は「どんだけ～」 「…関係ねえ！」？

地域連携室長(副院長) - 岡田和紀

鈴木秀道 八楸美香子 内山慎吾 柴谷健吾  
岡田直子 五十嵐一光 大比良瞳 作本綾子